



かけはし

理念

すべては患者様と
地域社会のために



病院ホームページは

<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

発行責任者 病院長 松本 健



太ももの付け根にふくらみを感じたら、、、

三菱神戸病院「そけいヘルニア外来」

にご相談を!!



副院長 兼 外科部長
長谷川 恭久

◇あれっ？ 太ももの付け根にふくらみが！

重い荷物を持ち上げたり、咳き込んだり、長時間立っていた時に、**太ももの付け根（鼠径部＝そけい部）にふくらみを感じたことはありませんか。**引っ張られる感覚や違和感があり、横になった時や手で押すとふくらみが元に戻るようなら、それは「**そけいヘルニア**」と思われます。いわゆる“脱腸（だっちょう）”と呼ばれている病気です。

◇そけいヘルニアになりやすい人

「そけいヘルニア」は子供の病気と思われがちですが、むしろ大人(40代以上の男性)によくみられる病気です。年齢を重ねると、太ももの付け根付近の筋肉の膜がゆるんで隙間ができることが原因とされています。「そけいヘルニア」になりやすいのは、重い荷物を持ち上げる仕事をする人、前立腺肥大症で排尿時に力を入れる人、喘息や慢性気管支炎で咳をよくする人、便秘のためトイレで力を入れる人など、日常的にお腹の中の圧力が高い人です。

◇そけいヘルニアのタイプ（図1）

「そけいヘルニア」はふくらむ部位によって、(1)外そけいヘルニア、(2)内そけいヘルニア、(3)大腿（だいたい）ヘルニアの3タイプに分類されます。

◇そけいヘルニアの治療

大人の「そけいヘルニア」は次第に大きくなる 경우가多く、自然に治ったり薬で軽快することは無く、根本的な治療は外科手術しかありません。「そけいヘルニア」で日常生活に支障を来すようなら、生活の質の改善のために積極的に治療した方が良いと思われます。三菱神戸病院外科では、腹腔鏡（ふくくうきょう：細い管の先端にカメラが付いた手術器具）を用いた「**腹腔鏡下そけいヘルニア手術**」（図2）を行っており、患者さんの「そけいヘルニア」のタイプを正確に診断して、小腸などが出てくる隙間を人工膜（メッシュ）で治療します。「腹腔鏡下そけいヘルニア手術」は従来の手術（そけい部切開手術）に比べて**手術創が小さく、術後の痛みも少なく、早期に社会復帰ができる、とても優れた手術**です。

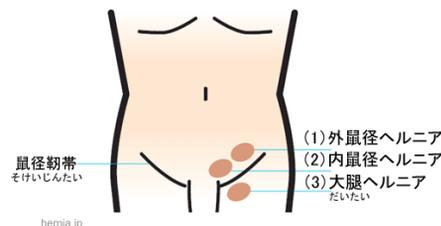


図1 そけいヘルニアの3つのタイプ

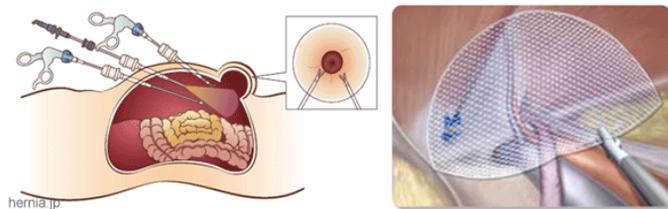


図2 腹腔鏡下そけいヘルニア手術（メッシュで治療）

◇三菱神戸病院「そけいヘルニア外来」にご相談を！

「そけいヘルニア」は痛みが強くないため、仕事が忙しいことを理由に我慢して、病院への受診を戸惑っている患者様が多くいます。「そけいヘルニア」でお悩みの方や「そけいヘルニア」かな？と思われた方は、是非、**三菱神戸病院「そけいヘルニア外来」**にご相談下さい。

三菱神戸病院 そけいヘルニア外来

診察場所：外科外来
担当医：長谷川恭久（副院長 兼 外科部長）
診察日時：木曜日午前診・金曜日午前診
（※）予約なしでも受診できます。
その他の曜日も対応可能な場合がありますので、お問い合わせ下さい。

参考サイト：ヘルニア倶楽 <https://www.hernia.jp/>

～お問い合わせ先～

地域医療連携室：078-652-8271
078-652-8275（FAX）

